

第 19 回全国城跡等石垣整備調査研究会 開催概要

1. 事業名

第 19 回全国城跡等石垣整備調査研究会（姫路城世界文化遺産登録 30 周年記念事業）

2. 開催主題

「文化財石垣修理 20 年の蓄積と今後の展望」

3. 開催趣旨

文化財石垣保存修理事業における近年の動向と事例報告および、過去 10 年で顕在化した課題の整理

全国城跡等石垣整備調査研究会は、全国の文化財石垣整備担当者・技能者・研究者・技術者などが一堂に会し、文化財石垣修復の様々な事例や課題について議論や情報交換を行うとともに、次世代を担う技能者、研究者の育成を目的とした全国大会である。

平成 16 年 1 月、第 1 回大会を姫路城世界遺産登録 10 周年となる姫路市で開催し、以後回を重ねてきた。第 10 回大会では、10 年目の節目として「文化財石垣修理 10 年の蓄積と今後の展望」と題し、第 1 回と同じく姫路市で開催した。

今年度、本研究会も第 1 回から 20 年の節目を迎えることから、再度これまでの文化財石垣保存修理事業について振り返るとともに、直近の 10 年間で顕在化してきた課題の情報共有と整理を行い、今後の課題解決に向けた方向性について議論する。

4. 開催概要

1) 開催日時 令和 6 年（2024 年）1 月 25 日（木）・26 日（金）・27 日（土）〔3 日間〕

※25 日は午後から開催、27 日は午前中で終了予定

2) 開催場所 1 月 25 日（木）・26 日（金） イーグレひめじ あいめっせホール

（姫路市本町 68 番地）

1 月 27 日（土） 現地視察（姫路城他）

3) 参加人数 約 300 名（行政、文石協関係者約 220 名・一般市民約 80 名）

※一般市民は、姫路市立城郭研究室が主催する姫路城世界遺産登録 30 周年記念事業第 7 回城郭市民セミナーとして参加者を募集する。

4) 運営主体 主催 文化庁・姫路市・姫路市教育委員会

共催 文化財石垣保存技術協議会

5) 実施概要(案) ※タイムスケジュールは調整中、報告テーマは仮題

開会宣言	日本城郭研究センター名誉館長	田中 哲雄 氏
主催者挨拶		文化庁・姫路市
共催者挨拶	文石協会会長	和田 行雄 氏
趣旨説明		文化庁
基調講演	奈良文化財研究所所長	本中 眞 氏
報告①特別史跡姫路城跡石垣保存修理工事と日常管理の課題		姫路市 小柴 治子 氏
報告②史跡盛岡城跡石垣保存修理工事	盛岡市	佐々木 亮二 氏
報告③史跡利神城跡石垣の保存修理工事	佐用町	中村 剛彰 氏
報告④北部九州の石橋等保存修理工事	文石協技術・研究会員	吉田 久美子 氏
報告⑤文化財石垣保存修理技術と経験の継承	文石協技能会員	藤本 昇 氏
情報提供 文化財石垣耐震診断指針について(中間報告)		文化庁
パネルディスカッション		
文化財石垣保存修理 20年の歩みー調査の課題と技術の継承ー		
・コーディネーター	石川県金沢城調査研究所所長	富田 和気夫 氏
・パネラー	石川県金沢城調査研究所名誉所長	北垣 聰一郎 氏
	協同組合 関西地盤環境研究センター顧問	西形 達明 氏
	奈良文化財研究所所長	本中 眞 氏
	東北芸術工科大学教授	北野 博司 氏
	文石協会会長	和田 行雄 氏
総括		文化庁
次回開催地挨拶		福岡市
閉会挨拶		

6) 現地視察コース(予定) ※詳細は、参加票発送時に同封します

日 時: 1月27日(土) 午前中

集合場所: コース①～③ 姫路城大手門付近

コース④ 姫路駅

視察内容: ①姫路城 冬の特別公開コース(西小天守の見学)

②姫路城石垣の魅力コース(内曲輪 一般公開エリアの石垣見学)

③姫路城石垣の魅力コース(内曲輪 非公開エリアの石垣見学)

募集人数 20名

④史跡置塩城跡の石垣見学コース(マイクロバスの送迎あり)

募集人数 20名

※③、④について、見学通路の安全確保や送迎バスの都合上募集人数を限ります。応募者多数の場合は、事務局で振分けさせていただきます。